

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

山田さんは、次のページの、シエイクアウト訓練について書かれた【資料】をもとにして、【防災新聞】を書きました。

【防災新聞】

防災新聞

9月11日(金)
発行
○年□組
山田

今回は、毎年、わたしたちの学校で行われている、シエイクアウト訓練について調べました。

【シエイクアウト訓練とは】

シエイクアウト訓練は、アメリカで始まった、地しんに対する訓練です。指定された日時に、その時自分がいる場所で、約一分間行います。

この訓練は、自分の安全を自分で守ることを目的として考えられたもので、日本では二〇一二年に初めて行われました。「シエイクアウト」という言葉の意味は、地しんをふきとばせです。日本では「いつせい防災訓練」とも言われています。

【訓練の内よう】

合図から約一分間、次の三つのことを行います。

- DROP (ドロップ)
自分がいるところで、すぐにしせいを低くします。



- COVER (カバー)
落ちてくるものから頭を守るために、つくえの下にもぐります。



- HOLD ON (ホールドオン)
地しんがおさまるまで、その場でじっとしています。



【思ったこと】

シエイクアウト訓練は、日本のひなん訓練とにているところがありますが、いざというときの行動がはっきりしめされていて分かりやすいです。また、約一分という短い時間で、しかも、自分がいるその場で訓練ができるので、無理なく取り組むことができます。

①この取り組みやすさが、とても大切であると言えます。(②)、いくら訓練が必要だと分かっているても、多くの人は、時間や手間がかかることは、なかなかしないからです。シエイクアウト訓練のめあてを理かいしてもらいための標語を考えたので、ぜひ、みなさんの訓練に生かしてください。

【標語】

〈標語1〉か 〈標語2〉

【資料】

シェイクアウト訓練は、自分の安全を自分で守る力をつけるために考え出されました。二〇〇八年の十月にアメリカのカリフォルニアで初めて行われ、日本では、二〇一二年の三月に初めて行われました。シェイクアウト (ShakeOut) という言葉は、「地しんをふきとばせ」という意味で、もともとあった英語の表げんをもとにして、新しく作られた言葉です。

このシェイクアウト訓練は、ニュースやSNSのえいきょうで、世界中に広く知られるようになりました。今では、日本でも、いろいろなところでこの訓練が実践されるようになっていきます。

この訓練は、合図にしたがって、参加者がいつせいに、それぞれ自分がいる場所で、一分間くらい、つくえの下にかくれるという訓練です。

地しんが起きたときには、まず、自分がいるその場で、すぐにしせいを低くします。これを、DROP (ドロップ) と言います。

次に、落ちてくるものから頭を守るために、つくえの下にもぐります。これを、COVER (カバー) と言います。頭は、人間の体の中でもとても大切な部分です。つくえがないところでは、ランドセルなどで頭を守りましょう。

DROPですぐにしせいを低くし、COVERで大切な頭を守り、そして、地しんのゆれがおさまるまで、自分がいるその場でじっとしています。これを、HOLD ON (ホールドオン) と言います。ただし、落ちてくるものだけでなく、飛んでくるものや動いてくるものがないかという点にも注意しましょう。

一 山田さんは、【資料】から引用(他の人の言葉を、自分の文章で使うこと)した、シェイクアウトという言葉の意味に、「」(かぎカッコ)を付けていないことに気づきました。「」を付ける内ようとしてふさわしいものを、【防災新聞】の中から九文字でさがして書きましよう。



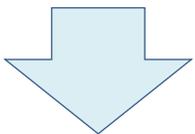
【2019年のポスター】

二 【防災新聞】の中の——線部①「この取り組みやすさ」がしめしている内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア アメリカで始まった、地しんに対する防災訓練であること。
- イ 自分の安全を自分で守るために考えられた訓練であること。
- ウ 短い時間で、自分がいる場で、無理なく訓練ができること。
- エ 訓練のめあてを理かいしてもらうための標語であること。

三 山田さんは、【防災新聞】の中の□に、「なぜ、頭を守るのか」ということについてのわけを加えることにしました。次の（ ）に当てはまる内ようを、【資料】の中から一文でさがして書きましよう。

落ちてくるものから頭を守るために、つくえの下にもぐります。



（ ）
そこで、落ちてくるものから頭を守るために、つくえの下にもぐります。

四 【防災新聞】の中の（ ② ）には、文末の「**からです**」につながる言葉が入ります。当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでのの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 例え **イ** なぜなら **ウ** このように **エ** つまり

五 山田さんは、【防災新聞】の最後の□に、次の【標語】の中の〈標語1〉、〈標語2〉のどちらか一つを入れようと考えています。あなたなら、どちらの標語を選びますか。番号と、選んだわけを書きましよう。

【標語】

〈標語1〉 すぐしゃがみ 頭を守って じっと待つ

〈標語2〉 一分で できる訓練 守れる命

番号前 (

)

一

二

--

三

--

四

--

五

番号

--

選んだわけ

--

一 地しんをふきとばせ

二 ウ

三 頭は、人間の体の中でも大切な部分です。(。)

四 イ

五 標語1を選んだわけの例..

シェイクアウト訓練でどのように行動したらよいのか、みんなに分かってもらいややすい標語だと思うからです。

標語2を選んだわけの例..

一分の短い訓練でも命を守れるというシェイクアウト訓練の取り組みやすさを書いた標語だからです。

※ 標語は、どちらを選んでいてもよい。

※ わけは、選んだ標語の内ようと合っていればよい。